



ユニフェム東京 NEWS

Vol.32

NPO法人ユニフェム（国連女性開発基金）日本国内委員会／東京地域委員会

2010. 11. 20



開発の原点から支援の将来までを
講演するランデスハル氏

実り豊かなユニフェム支援を探る

連続講座 第2・3回「開発とユニフェム」の 報告

ユニフェムの大きな変革期、7月21日(木)、9月15日(水)の両日、開発経済学が専門のランデス ハル氏（元青山学院大学経済学部教授）を迎え、「開発とは？」また「今後の支援のあり方」を学んだ。

1. 開発問題とその展開

第二次大戦後、荒廃したヨーロッパの経済を立て直すことで、戦災を免れたものが援助することが大事とアメリカが中心となりマーシャルプランができた。海外援助には贈与と貸与があり、その配分をアメリカ1国が決めるのではなく、国際機関が入った方がよいとできたのがOECD（ヨーロッパ経済協力機構）である。さらに国際的な新しい制度として金融でIMF、貿易ではGAT（後にWTO）も設立された。

大戦の終結とともに、アジア諸国とアフリカが植民地から政治的に独立したが、真の独立は経済的独立だと自覚し始めた。ナショナリズムを高揚させながら、経済的な意味での緊張関係から南北の関係が生まれた。独立した国々を「南の国」と捉え、「第3世界」とも言われたが、それは世界観やイデオロギーを反映している。客観性を重んじる経済学者たちにとっては、世界銀行による資料を基にした「所得」の概念が比較できる一番使いやすいものとされ、今に至っている。

低所得国と中所得国をあわせた開発途上国と、高所得国との比率を見たとき、「人口の80%を占める国々は

世界の所得の20%しか得ていない。それに対し人口の20%を占めるに過ぎない国々は全所得の80%を得ている」1990年代の初めごろまでこの比率は殆ど同じである。これは世界のアンバランスがいかに大きいのか、また開発問題の置かれている背景を見せてくれる。

中国、インド、パキスタン、ナイジェリアが低所得国から中所得国グループへ移動したことで、2008年には開発途上国の人口と所得の比率はともに増大した。私たちが関心を寄せる開発途上国は、当然低所得国の国々を指すことになる。

2. 経済開発から人間開発へ

開発経済学の課題は、1950年～70年代半ばのころ、開発途上国の貧しい人々の生活を改善させる方策をさぐることと考えられていた。貧困を一人当たりのGDP（またはGNP）を基準にして捉えるのが通説で、GDPの増大を追い求めていたが、1970年代後半になると経済的な豊かさが、本当に人々の生活の豊かさといえるのかが問われるようになった。そこで狭義の経済的意味合いを超えた開発の目標を定義することが新たな課題となった。まず一人当たりのGDPの増加は平均的な概念なので、その国の貧しい人々といった特定のグループの生活改善を必ずしも正しく反映しない。高い人口増加率と一国内の不均等な所得分配を考え合わせる

と容易にわかる。

開発の効果をみるために貧しい人々に焦点を合わせて、絶対貧困水準の算定が試みられた。1985年世界銀行は、人々がやっと生きていける衣食住の最低の所得水準を年額370ドル(365日)とし、1日1ドルの所得とみなす考え方が広がった。その後ドル価値の低下を反映して、2005年に1日1ドル25セントに改訂された。

BHN (Basic Human Needs) アプローチでの生存のために必要とされる基本的ニーズの充足は、開発の最低限の目標である。それは今日のひもじさを満たすだけではない。明日を生きるエネルギーの確保、栄養への配慮や健康維持のための下水処理や安全な飲料水の供給などを必要とする。また、貧しい人々がこうした必要に気づき、問題の解決に参加することも大切であり、それを可能にする教育の機会が広く提供されることも生存のための必要条件と考えられる。人々が豊かであるかどうかは経済的な富の大きさよりも、そうした富によって人々が持っている人間の潜在能力を実現する機会があるかにかかっている。

新しい意味での開発の成果を定型化しようとのUNDPによる試みは、人間開発指数HDI(Human Development Indicator)として1990年から「人間開発報告書」に発表された。この指標はさらに改善され、人間貧困指数(HPI)、ジェンダー開発指数(GDI)、ジェンダー・エンパワーメント測定(GEM)が作られた。これら3つの指標は、人間開発指標と並行して用いられ、貧困とジェンダーに由来して人間の潜在能力が発揮される機会をどれほど奪っているか、豊かな生活から遠ざけているかを示そうとした。次の表はユニフェムがアジアで支援プロジェクトを展開しているLDC諸国のGDIを示している。

ジェンダー開発指数(GDI)とその構成項目 (2007年)

	GDI 指数	期待寿命(年数)		成人識字率(%)		就学率(%)		稼得所得(PPUS ^{DL})	
		女	男	女	男	女	男	女	男
LDC*									
アフガニスタン	0.310	43.5	43.6	12.6	43.1	35.4	63.6	442	1,845
カンボジア	0.588	62.3	58.6	67.7	85.8	54.8	62.1	1,465	2,158
ラオス	0.614	65.9	63.2	63.2	82.5	54.3	64.8	1,877	2,455
東ティモール	—	61.5	59.8	—	—	62.1	64.2	493	934
(参考)									
日本	0.945	86.2	79.0	99.0	99.0	85.4	87.7	21,143	46,706

*後発開発途上国 出所：UNDP, Human Development Report 2009, pp.181-4

3. 豊かな社会をめざす国際連携

OECDの中で1960年に設立された開発援助委員会DAC (Development Assistance Committee) は、先進国と開発途上国間の資金の流れに道筋をつけ、調整をする上でリーダーシップをとった。DAC加盟国と開発途上国の政治的約束で流れる資金の主要な部分は、政府開発援助(ODA)である。そして1970年代

の終りと、ここ10年間での高所得国の好景気を反映して近年めざましい成長をみせた。またDAC諸国が、ミレニアム開発目標(MDGs)達成のキャンペーンに支持を表明したことが反映されてもいる。開発援助の有効性を高めるためのDACの最新のガイドラインは、2005年に採択の「パリ宣言」に示されており、受け取る側に自主性を認める「自主権」を重んじた。開発プロジェクトの目標の設定、優先順位付けなど援助の管理・運営について、受け取り側のリーダーシップが重視されている。

近年、DAC以外の国々によるODAも増加している。また開発途上国での二国間援助に加えて、三国間援助という新しい展開もある。資金を出すのは主としてDAC諸国だが、中間に立つのも援助を受け入れるのも開発途上国なので、身近な関係の中で自らが援助の受け取り国であった経験からより適切な助言ができれば、援助の有効性は高められる。

4. 新しい形の開発連携

今世界中が大きな変化の中にある。またユニフェム自身も2011年新しい出発をしようとしている。これまで実施してきた支援プロジェクトは、アジアに重点が置かれてきた。国際援助の対象として注目されている後発開発途上国(LDC)の大半を占め、MDGsの中間進捗状況でも深刻さが見えるアフリカを今後は重視する必要がある。

支援プロジェクトの将来の形を描こうとする時興味をひくものに、援助とビジネスをこれまでとは異なった視点から考えた新しいタイプのビジネスがあり、開発途上国ですでに活動している。

世界の好況期の恩恵からいつも取り残される40億人をターゲットにした企業戦略だ。BOP (Base of Economic Pyramid) ビジネスと呼ばれ、ピラミッドの基底にあるもっとも貧しい人々の所得を向上させるのが狙いだ。基底の部分の主要な人々は女性である。そのニーズの発掘には、ユニフェムの支援が必要とされているところを探すと共通するところがある。またBOPビジネスは政府・企業・NGOが密接に連携して展開されている。NGOがどのように関わっているのかも関心を持って注目したい。

(講演要旨)

2010年9月14日、潘基文（パン・ギムン）国連事務総長は、前チリ大統領のミシェル・バチェレ前大統領（写真右）を、UN Womenの最高責任者の事務次長に任命した。潘事務総長は任命発表の記者会で、「バチェレ氏は、この重要なポストで、力強いグローバルなリーダーシップ、磨き上げられた政治手腕、そして国連機関とも官民多数のパートナーの間で合意と焦点を作り上げることでできる優れた能力を発揮することになる。私はバチェレ氏の強力なリーダーシップのもと、国連が全世界で数百万人の女性と女兒の生活を改善していけると確信している」と語った。



UN Women への始動 開始

国連加盟国代表で構成される**執行理事会**を設立し、政府間支援の提供、新機関の業務監督を行う。アフリカ 10、アジア 10、東欧 4、南米（カリブ諸国）6、西欧・他 5、ドナー諸国 6 で計 41 カ国が選出される。日本もアジアグループに名乗りをあげた。

ウィーンでユニフェム国内委員会

連絡協議会 開催！

2010年9月8日～12日

新組織 UN Women への移行期間、および移行後の国内委員会の役割や連携方法などが議題の中心となった。また、今年は安保理決議 1325 号発効 10 周年にあたり、関連イベントを開催。ボスニア・ヘルツェゴビナとコソボへのフィールドトリップが実施された。日本からは坂東眞理子・吉川真由美両氏が出席した。

会員だより



日本文化を 次世代へ

東京都港区在住
阿部 恵代さん
(藤間 春素娥)

「東京新聞」が主催する第 46 回推薦名流舞踊大会が 9 月 20 日、国立大劇場で開催され、私は藤間新流家元素秀師の新構成による、清元「お夏」を演じました。いとしい清十郎との恋を引き裂かれ、狂わんばかりに田舎道を彷徨うお夏をからかう里の子の素朴にして、愛らしい姿を観ていただきました。ともすれば、日本文化が忘れられようとしている今日、小学生に身をもって伝統文化の大切さ、素晴らしさを楽しく勉強し、理解してもらうことが情操教育の目的です。国際人として、21 世紀を背負って立つ子供たちに継承してもらいたく努めました。同時に 18 歳のいじらしい娘お夏に扮する舞踊家の気持ちを現代の若い人たちに伝えたいというのが、私のこころ根です。大道具も情緒豊かに、深まる秋を待ち望む皆さま方に、ご満足していただけますようお願いを尽くしました。

《思い出の映画紹介》

怒りの葡萄

井上 さつき

1940 年作のアメリカ映画で、あの「風と共に去りぬ」の次に全米でヒットし、アカデミー賞で監督賞を受賞したジョン・フォード監督の作品だ。この映画の日本公開は 1963 年 1 月。舞台は 1930 年代のアメリカ中西部。土地の荒廃による砂嵐、農業の機械化・大規模資本主義経営の進展で土地を追われた一家は中西部オクラホマからルート 66 をおんぼろ車で西のカリフォルニアを目指す。途中で祖父母は次々と死に、辿り着けばジョード家の希望は無残に打ち砕かれる。若きヘンリー・フォードが扮する次男トムは、農園で友人を殺した警備員を撲殺し、追われる身となる。頼るべきトムもいない絶望の一家は再び農園を後に、ぼろ車を走らせる。「金持ちは、子どもが死んだらその代で終わりだが、私たちはそんなに弱々しくない、たやすく潰されたりしない。生き続けるの。私たちは民衆だから…」という母親の台詞で終わる。原作は、母親が赤ん坊に乳を含ませるところで終わっているが、20 世紀フォックス社の社長が、フォード監督の意図を無視して、このセリフを付け加えたとか。全編を通し、アカデミー賞の助演女優賞を受賞したジェーン・ダーウエルの母親役は、いちだんと際立つ。激動期・混乱期の母親の存在感、母親の生きる強さが写る。現在もまたそれが要求される時代ではないだろうか。



ユニフェム東京
クリスマス・チャリティコンサート

駕渕 紹子 (おしぶち つぎこ)
パイプオルガン演奏会

いよいよ 間近になりました!

日時: 12月6日(月)
14:00 (開場)
14:30 (開演)



X-Mas

会場: 武蔵野市民文化会館
小ホール
(JR・三鷹駅、吉祥寺駅下車バス)

全席自由席: 一般3,000円 学生1,000円



夏から秋へバザー



6月27日(日)
渋谷区代々木上原・
ムジカーザ・ホール



10月17日(日)
武蔵野市吉祥寺・
日本パシーワ・バザー



10月30~31日
(土・日)
渋谷区東・
実践女子学園・
桜会バザー

2011年度

ユニフェム東京総会



日時 1月26日(水)
午後 13:00~16:00

会場 津田塾大学同窓会会議室
(JR・千駄ヶ谷駅前)

第1部 : 総会

第2部 : 講演

テーマ: UNIFEMからUN Womenへ

講師 原 ひろ子 氏

(ユニフェム国内委員会副理事長・
お茶の水女子大学名誉教授)

国連総会の只中、今総会の焦点であるUN Womenの誕生から、具体的な動きはどのように移動し、進行しているのでしょうか。国連の GEAR (ジェンダー平等機構改革) に出席し、新組織の活動を見守る 原 ひろ子氏を迎え、話を伺います。是非、この機会を大きな転換期のステップに! 皆さまこそご出席ください。

《 会計よりお願い! 》

今年度の会費が未納の方は、近日中には是非お振込みください。

ユニフェムの事業年度は、その年の1~12月までです。また来年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



☆ご入会・ご寄付いただき、有難うございます。

新規会員: 宮崎加代子 山本敦子

寄付者: 元野紘子 高野博子 政田道子

活動寄付者: 松比良節子 山本和代 五十嵐康子

2010年10月30日まで (敬称略)

【編集後記】

★ ランデスハル氏の「連続講座」は、目からウロコでした。集中講義を受けたようで、「国連開発計画」に関わりながら今一判らなかつた一つ一つが溶解して、胸に落ちていくのが分かりました。改めて感謝です。

★ 9月にはチリのミシェル・バチェレ前大統領が、地球上の私たち女性の味方になり、10月には現大統領が落盤事故から33人の救出劇をやったのけ、世界中の人々をテレビに釘付けにしました。また、ブラジルでは初の女性大統領が誕生。南米から大きなうねりが押し寄せて来ています。

ユニフェム東京NEWS 第32号

発行人: ユニフェム東京会長 阿部 幸子

発行日: 2010年11月20日

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-23-1
ニューステートメナー331
Tel&Fax 03-6228-0029

郵便振替: 00190-6-5508800
<http://www.unifemtokyo.org>